



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	編集後記
Citation	教授学の探究, 27
Issue Date	2010-03-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42794
Type	other
File Information	kyouju27_006.pdf



【編集後記】

各教科教育は、その対象領域の全体像を子どもに与えるよう要請されている。自然科学教育の場合、それは自然像＝「与えられた歴史的段階における自然ないしその主要な諸領域についての科学的知識の総体によって得られる、ある統一的な形象」（岩崎允胤・宮原将平）である。外国語教育としての英語教育では、英語という個別言語の像が、そして、国語教育との連携で一般的な言語像が問題となる。

歴史教育が必要とするのは、科学的に組み立てられた「世界史や各国史の全体像」である（太田秀通）。満州事変という個別の歴史事象を扱う際には、それが日本の近代史の中でどのような位置づけを持つかが問われる。歴史研究においては、これまで共有されてきた日本近代史の全体像が大きく揺らいでいる。旧来の「講座派」的枠組みの解体が新たなパラダイムの形成を意味せず、アプローチの多様化によって、「十五年戦争」期の歴史像が錯綜した状況にある中で、「デモクラシー」と「ファシズム」を共に「近代」の産物と認めつつ、その上で「近代」の可能性を追求し続けることが必要であるという提起がなされている（高岡裕之）。

教科教育はどれも、対応する学問に学びながら、力となる知識という点から対象領域の全体像を独自に組み立てなければならないようである。【M】

編集委員

大野 栄 三

大竹 政 美

教授学の探究 第27号

2010年2月19日 印刷

2010年3月1日 発行

編集・発行 北海道大学大学院教育学研究院
教育方法学研究室
(060-0811 札幌市北区北11条西7丁目)

印刷所 北海道印刷企画株式会社
(064-0811 札幌市中央区南11条西9丁目)
